

折り紙をモチーフにした油絵を寄贈

5月23日、本町在住で画家の田中定一さんたなか さだいちから折り紙をモチーフとしたF10号の油絵（作品名）「舞う」を寄贈していただきました。

今回寄贈していただいた絵には、子どもの笑顔や空に舞う折り紙が描かれ「子どもたちに色々な夢を追いかけて欲しい。そして、町が進めているORIGAMIによるまちづくりの手助けとなり、町民の皆様に芸術文化に親しみをもらいたい。」という思いが込められています。絵画は町長応接室に飾られています。

田中定一さんは令和4年度栃木県文化協会文化選奨のほか、数々の賞を受賞されています。



北小学校で田植え体験

6月1日、北小学校南側の田んぼで、田植え体験が行われました。

各学年ごとに分かれて順番に行われ、はだして田んぼに入った児童からは歓声が上がりました。

田植えの途中、バランスを崩して転んでしまい洋服が真っ黒になる場面もありましたが、最後まで渡された苗を1つひとつ丁寧に植えていました。

なお、北小学校では、稲刈り体験を10月上旬に行う予定です。



上三川高校「創立40周年」

6月2日、栃木県立上三川高等学校で「創立40周年記念式典」及び「芸術鑑賞会」が行われました。

記念式典では、本嶋典男校長もとしま のりおから式辞が述べられ、生徒代表挨拶では、生徒会長の黒川瞬平くろかわしゅんぺいさんが登壇し「『愛する』『勉める』『創る』『鍛える』の4つの校訓を胸に、ますます発展させていきます。」と力強く誓いました。

芸術鑑賞会では、同校卒業生でオペラ歌手(テノール)の川野浩史かわの ひろふみさんが所属する「東京サロンシンフォニーオーケストラ」20名によるコンサートが開かれ、クラシックとオペラ歌手の共演のほか、生徒が楽器を演奏したり、指揮者を体験するコーナーが設けられ、思い出に残る芸術鑑賞会となりました。





町の話

春の交通安全運動

街頭指導を実施

5月11日、役場西側交差点で、町、町教育委員会、下野警察署で街頭指導センターを設置しました。

5月12日から19日までの期間中には、町、下野警察署、下野地区交通安全協会上三川支部、交通安全指導員により、町内各地で街頭指導を実施しました。



広報啓発活動

5月17日、ジョイフル本田宇都宮店宝くじ売り場周辺で交通安全の啓発品を配布しました。

この活動は、下野地区交通安全協会女性部会上三川支部によって行われ、約100個の啓発品が配布されました。



星野町長4期目初登庁

5月29日、町長選挙で4選を果たした、星野光利町長が役場庁舎に初登庁しました。正面玄関前に集まった多くの町民の皆さんと町職員が大きな拍手で出迎える中、後援会の方からお祝いの花束を笑顔で受け取りました。

登庁後の挨拶では、「3期目の期間中はコロナウイルス感染症の影響で、1期目から続けている町民の皆様との対話が難しい状況だった。4期目は対話による町政運営を進めるとともに、3期目中に種を撒いていたことをしっかりと実現していきたい。4期目はやるべきことが非常に明確になっているので、皆様のご協力を得ながら、よりよいまちづくりを進めていきたい」と抱負を力強く述べました。

